

米沢藩上杉家江戸藩邸跡

警視庁の目の前に位置し、霞ヶ関境界で一際目立つ建物である法務省旧館赤レンガの敷地内に米沢藩上杉家藩邸跡を示す記念碑があります。敷地内とはいえ、法務省を囲う柵の外にあるため、法務省旧館に入館する必要はありません。

米沢藩上杉家江戸藩邸は、桜田門のすぐそばにあったため、幕末には有名な「桜田門外の変」がすぐ目の前で起こっています。

逼迫する藩財政を儉約と特産品振興策などを行い、立て直した名君と世界的にも名高い上杉鷹山がその藩財政改革の第一歩もここで案を練ったとされます。

◆法務省敷地内 米沢藩上杉家江戸藩邸跡

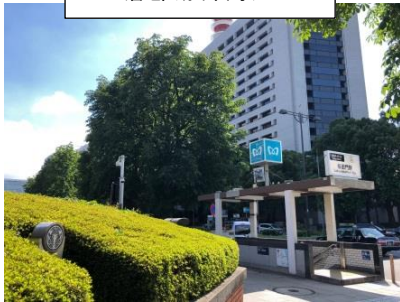
東京都千代田区霞が関 1-1

東京メトロ 有楽町線「桜田門駅」出口5より徒歩0分（出口すぐ）

東京メトロ 丸の内線「霞ヶ関駅」出口A1より徒歩2分



藩邸跡碑周辺



藩邸跡碑



案内板